

12月定例市議会

# 戸沢ひろゆきの議会報告

2006年1月発行

秋留台公園で……朝のラジオ体操する戸沢



その時代のその時々  
の市政の根幹にかかわる質問を「市民が主役」の立場で、日本共産党の対案を示しながら発言してきました。  
また、月に二回、「無料法律相談」を受けつけ、市民のための「なんでも相談」活動を取り組み、ホームページを開設、情報を開示し、さまざまなメールの交換を行ってきました。これからも初心を忘れず、元気に頑張ってまいります。ご意見、ご質問、提案など、今後もお寄せください。

こんにちは、  
お元気で新しい年を迎えられたことと思います。  
みなさまのおかげで市議会議員として、満三十一年目を迎えました。  
新年にあたり、昨年十二月の定例市議会報告をさせていただきます。振り返ってみますと、市議会本会議を一度も休むことなく、遅刻、早退もなく皆勤することができました。本会議で議員が行うことができる行政事務一般に関する質問は連続百十五回を数えます。

三十年間、本会議一度も休まず  
一般質問は連続百十五回

市役所は市民に役立つ所です

こま  
困った時は、どしどし電話しましょら

代表番号 558-1111

市長への手紙について……558-1264

学校教育について…… 558-1514

通学路や教育で悩んでいることについて…… 558-1560

社会教育について…… 558-2438

中央公民館559-1221 秋川体育館559-1163

市民プール550-1711 秋川キララホール 559-7500

あきる野ルピア550-4711 五日市ファインプラザ596-5611

生き生きセンター558-3344

地域で困っていること……

まちづくりについて…… 558-2029

公害、環境について…… 558-1842

ゴミや清掃に関して…… 558-1830

公園について…… 558-1842

道路について…… 558-2035

医療や国民健康保険について……558-1664

介護保険について…… 558-1969

お年寄りの相談…… 558-1953

保育園の入所や相談…… 558-1982

あきる野市保健センター 558-5091

生活保護や暮らしにこまっていること……558-1927

広報について…… 558-1269

市議会のことに関して…… 558-2264

税金について…… 558-1682

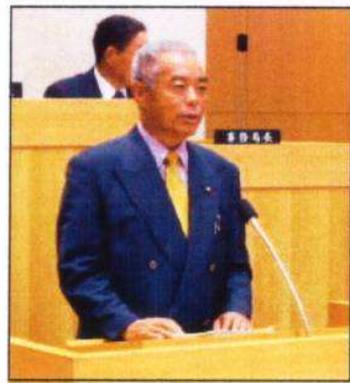
戸沢ひろゆきへのアクセス 558-9721

メール setooka@mue.biglobe.ne.jp

ホームページアドレス

www.jcp-akiruno.com/tozawa/

# 戸沢議員の あきる野市政 に対する一般質問



はじめに

今回、議長を除く二十三人が一般質問を提出しています。とても良い事です。市議会は行政からだされる議案の審議権、行政を監視チエックする議決権、そして市民立場から各種提案権が与えられています。

私は早いもので市議会議員にさせていたがいてから三十一年目を迎えました。この間、一度も一般質問を欠かさず行ってきました。今回で百十五回目ということになります。一時間の質疑の内容を質問の観点と、回答の要旨を報告します。

## 一、まちをきれいにする 条例制定(パートⅡ)を

前回九月定例会市議会で、まちをきれいにする条例(案)を市長に提出した。市側は「研究してみたい」と答えであったが、その後の研究の内容をお答えください。

環境経済部長の回答(要旨)

前回提案された条例について、いまあきる野市では「環境基本計画」を作成しています。規範とするか、条例が必要かを含めて大いに検討してまいります。

戸沢議員の再質問(要旨)

町内一斉清掃や各種団体が協働で取り組んでいる活動を奨励するためにも必要で、強く条例の制定を求めました。

## 二、スロータウン 構想について提案する

環境建設委員会は十一月一日、滋賀県高島市が進めているスロータウン施策を学んできました。スローとは、その地域の昔からの産業と文化にしっかりと根ざした「まちおこし」をすすめているということです。

視察を通して、あきる野市でも取り組む必要があると考えました。山間地などで、木質バイオマスもそうだが、古代米、ヒエ、粟、蕎麦づくりの復活。太陽光、地熱、風力など利用し「手問ひま」かけ、昔からの産業を衰退させずに引き継ぎ、百年後に住む子ども達に伝えることが大切だと、高島市の施策がすめられていました。環境を配慮した天ぷらの廃油で保育園の送迎のバスが動いてもいい。高度経済成長時代と違う今の時代、箱物づくりや開発だけが「まちづくり」ではない。十里木、長岳などで、昔からの産業に光をあてるべきだ。市側の考えを聞きたい。

市側の回答(要旨)

非常に参考になった。市としても今後のまちづくりを生かして行きたい。

## 三、来年度の 予算編成について

合併によるメリットと考えて旧合併特例債である地域総合整備特例債の利用がされてきたが、あきる野市に於いて三位一体の改革のもとで厳しい財政運営が予想される。市の対応について問う。

企画財政部長の回答(要旨)

地方交付税のバイが減り続け厳しい状況だ。前年度予算と比べて十三億五千万円不足するため、徹底した行政評価システムにもとづき財政運営をすることになる。

戸沢議員の再質問での提案(要旨)

十里木 長岳の過疎化は、この地域の人々が安心して暮らせる環境づくりが必要であるということ。二十五億円もかける温泉事業ではない。高齢化している地域にこれだけキメの細かい福祉施策を行うかにある。交通の便、ディケアー、除雪や坂道対策などしっかりと進めることが大切だと提案した。

紙面の都合で要旨のみが記載できませんでしたが、市のホームページに市議会速記録として検索できますので、ぜひお読みください。

